

# 平成24年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成23年10月28日 上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

コード番号 3850 URL <a href="http://www.intra-mart.jp/">http://www.intra-mart.jp/</a>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山義人 問合せ先責任者(役職名)取締役 管理本部長 (氏名) 鈴木誠

四半期報告書提出予定日 平成23年10月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

TEL 03-5549-2823

	売上7	高	営業利	J益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,636	19.9	113	51.9	110	53.6	61	51.3
23年3月期第2四半期	1,364	_	74	_	72	_	40	_

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 58百万円 (6.6%) 23年3月期第2四半期 54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2,744.25	_
23年3月期第2四半期	1,812.79	_

#### (2) 連結財政状態

(=/ X_1=X/1=X/V(X)					
	総資産	純資産	自己資本比率		
	百万円	百万円	%		
24年3月期第2四半期	2,824	1,843	62.6		
23年3月期	2,733	1,800	62.9		

24年3月期第2四半期 1,767百万円 23年3月期 1,720百万円 (参考) 自己資本

#### 2. 配当の状況

-: HO 47 / 1/70					
			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭
23年3月期	_	0.00	_	700.00	700.00
24年3月期	_	0.00			
24年3月期(予想)			_	900.00	900.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	刂益	経常和	il益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,400	13.2	340	27.1	348	26.5	198	26.7	8,888.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,275 株	23年3月期	22,275 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,275 株	23年3月期2Q	22,275 株

# ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する 四半期レビュー手続が実施中です。

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の 業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (その他) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災による電力供給への懸念等の影響は限定的であったものの、欧米の財政問題による株価の低迷や円高の進行、長引く雇用不安など、景気は依然として不透明の状況で推移しました。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっているものの、主に東日本大震災の影響を受けた地域や業種の設備投資に慎重な傾向が見られるなど、厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、「①市場におけるプレゼンスの確立、②高い品質及び顧客満足度の実現、③コーポレートガバナンスの充実」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「市場におけるプレゼンスの確立」及び「高い品質及び顧客満足度の実現」として、今後拡大が見込まれるスマートフォン市場向け製品『イントラネット・スタートパック Smartphone オプション Ver7.1』及び『intra-martWebPlatform』のワークフロースマートフォン対応強化版をリリースする等、新規市場に向けて積極的に事業展開を図りました。

また、中国市場における大手日系企業へ導入やSaaS型サービスでの利用ユーザの拡大など、今後の成長戦略として展開を期待していた分野への導入が着実に進みました。

この結果、売上高1,636,705千円(前年同四半期比19.9%増)、営業利益113,346千円(前年同四半期比51.9%増)、経常利益110,682千円(前年同四半期比53.6%増)、四半期純利益61,128千円(前年同四半期比51.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (イ) パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナを通じて販売しており、新製品や保守に関しては堅調に推移したものの、東日本大震災の影響により、一部案件で延期や中断が見られる等、厳しい状況が続きました。 この結果、売上高は801,360千円(前年同四半期比2.0%減)となりました。

#### (ロ) サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、中国子会社のオフショア開発の受注は引き続き厳しいものの、昨年度から引き続きクラウド基盤・モバイルといった先進的な案件や既存ユーザからSI案件の受注が続き、また下期に予定していた大型SI案件の売上が前倒しで計上されたこと等により計画を大きく上回りました。

この結果、売上高は835,345千円(前年同四半期比52.5%増)となりました。

# (当グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業(コンサルティング、システム開発等)は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準(検収基準)である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産は、パッケージ事業における開発中の市場販売目的ソフトウェアであるソフトウェア仮勘定が増加したことにより、2,824,075千円となり、前連結会計年度末に比べ90,436千円、3.3%の増加となりました。

#### ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したことにより、980,405千円となり、前連結会計年度末に比べ47,506千円、5.1%の増加となりました。

#### ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことにより、1,843,669千円となり、前連結会計年度末に比べ42,929千円、2.4%の増加となりました。

# (3) 連結業績予想に関する定性的情報

情報産業分野は、東日本大震災の影響などにより、企業のIT投資は引き続き抑制される傾向にあると思われます。当社グループがターゲットとするWebシステムの環境も、クラウドコンピューティングやSaaS等の新たな分野での展開が実現しているものの、これまで以上に投資対効果の高いサービスが求められており、引き続き厳しい環境が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは引き続きSaaS・クラウドコンピューティング分野への進出に向けた統合的Webソリューションを提供するため、継続的な製品開発やソリューションの開発を積極的に取り組んでいきます。

また、短納期・低コストといった市場動向は続くと思われますが、グループ全体で付加価値の高いソリューションの提供やサービスレベルの向上を実現することにより、エンタープライズ領域への事業領域の拡大を図ります。なお、サービス事業における一部案件の前倒しの影響があり、第2四半期の業績は当初計画を上回るものではあるものの、パッケージ事業においては、震災の影響で受注状況に陰りが見られる等、第3四半期以降も全般的に厳しい環境が続く事が想定されるため、業績予想に変更はありません。

# 2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。

# 3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727, 229	784, 783
関係会社預け金	403, 671	500, 419
売掛金	618, 762	475, 710
たな卸資産	14, 016	53, 813
繰延税金資産	32, 490	32, 69
その他	77, 994	91, 238
貸倒引当金	△37	△4
流動資産合計	1, 874, 128	1, 938, 61
固定資産		
有形固定資産		
建物	34, 341	36, 482
減価償却累計額	△20, 848	△23, 74
建物(純額)	13, 492	12, 73
工具、器具及び備品	44, 188	49, 334
減価償却累計額	△23, 823	$\triangle 27,420$
工具、器具及び備品(純額)	20, 365	21, 90
有形固定資産合計	33, 858	34, 64
無形固定資産		
ソフトウエア	436, 926	353, 81
ソフトウエア仮勘定	133, 245	232, 81
その他	72	72
無形固定資産合計	570, 244	586, 704
投資その他の資産	·	
投資有価証券	100, 000	100, 00
敷金及び保証金	96, 652	106, 83
繰延税金資産	56, 889	55, 86
その他	1,865	1, 41
投資その他の資産合計	255, 407	264, 112
固定資産合計	859, 510	885, 463
資産合計	2, 733, 639	2, 824, 075

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232, 107	186, 843
未払法人税等	62, 687	58, 359
前受金	380, 567	472, 349
賞与引当金	53, 784	58, 803
その他	122, 113	106, 952
流動負債合計	851, 261	883, 309
固定負債		
退職給付引当金	80, 159	94, 910
資産除去債務	1, 477	1, 481
その他		704
固定負債合計	81, 637	97, 096
負債合計	932, 898	980, 405
純資産の部		
株主資本		
資本金	516, 262	516, 262
資本剰余金	446, 262	446, 262
利益剰余金	778, 328	823, 864
株主資本合計	1, 740, 853	1, 786, 389
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20, 448	△18, 725
その他の包括利益累計額合計	△20, 448	△18, 725
少数株主持分	80, 334	76, 006
純資産合計	1, 800, 740	1, 843, 669
負債純資産合計	2, 733, 639	2, 824, 075

# (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1, 364, 898	1, 636, 705
売上原価	771, 171	1, 001, 627
売上総利益	593, 727	635, 078
販売費及び一般管理費	519, 095	521, 732
営業利益	74, 631	113, 346
営業外収益		
受取利息	164	1, 075
その他	431	60
営業外収益合計	596	1, 135
営業外費用		
為替差損	3, 182	3, 799
営業外費用合計	3, 182	3, 799
経常利益	72, 045	110, 682
税金等調整前四半期純利益	72, 045	110, 682
法人税等	10, 156	55, 032
少数株主損益調整前四半期純利益	61,889	55, 650
少数株主利益	21, 509	△5, 477
四半期純利益	40, 379	61, 128
少数株主利益	21, 509	△5, 477
少数株主損益調整前四半期純利益	61, 889	55, 650
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6, 993	2,871
その他の包括利益合計	<u>△</u> 6, 993	2,871
四半期包括利益	54, 895	58, 521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36, 183	62, 850
少数株主に係る四半期包括利益	18, 711	△4, 328

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) セグメント情報等
  - I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	817, 058	547, 840	1, 364, 898
セグメント間の内部売上高又は振替高	342	65, 478	65, 821
計	817, 400	613, 318	1, 430, 719
セグメント利益	204, 483	57, 356	261, 840

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	261, 840
セグメント間取引消去	△1, 393
全社費用 (注)	△185, 815
四半期連結損益計算書の営業利益	74, 631

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	801, 360	835, 345	1, 636, 705
セグメント間の内部売上高又は振替高	3, 693	39, 811	43, 505
計	805, 053	875, 157	1, 680, 211
セグメント利益	240, 713	48, 736	289, 450

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	289, 450
セグメント間取引消去	6, 380
全社費用 (注)	△182, 484
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業 利益	113, 346

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象 該当事項はありません。